

みあさづ



くりり

美麻小中学校にて9年生卒業式が行われました。今年は雪が多かったのですが、やっと春らしい日差しが戻ってきたなかで、体育館と昇降口前で9年生を送り出しました。

先週の9年生を送る会がとても楽しく行われたのに対して、卒業式は厳粛な雰囲気の中で、しっかりと9年生を送り出すことができました。コロナの影響もまだあるので、来賓の方に参加をご遠慮していただいたり、保護者参加も卒業生一人に2名まで

と制限がありましたが、合唱や呼びかけも外で行うことで、1～8年生とのお別れもしっかりできました。

(文責：小山 保男)



QRコードを読んでパソコンやスマホでもご覧ください。

ホームページ
美麻Wiki



facebook





卒業生から地域の皆様にお礼の言葉

この学校でたくさんのごことを学びました。美麻で学んだことをいかしてこれから様々なことに取り組んでいきたいと思ひます。



私に関わってくれた皆さんの温かさが自分を変えてくれたと思ひています。ありがとうございました。



美麻の地域や学校の雰囲気、とても好きです♡ここで3年間生活して沢山のひとに関わりたくさんのことを学ばせてもらいました。美麻で学んだことや経験したことをこれからの生活に生かしていこうと思ひます(*^_^*) 関わってくれた皆さん、今までありがとうございました(´_`)



美麻小中学校で学んだことはユーモアがあることです。それは将来にとっても役立つと思ひています。



地域の皆さんや学校関係の方、たくさんの人に支えられ

て無事卒業できます。ありがとうございました。

総合の活動を通して地域の皆さんにお電話させていただく事が多くあったのですが「美麻小中学校」というとみなさんが優しく話してくれて、改めて美麻の方々の優しさに触れました。3年間ありがとうございました。



この3年半の中で自分が変わったことは3つあります。まず1つ目はこの時間は一生帰って来ないと感じる事ができるようになったことです。そのように考えられるようになったのは、クラスの友達や先生方や地域の人がいて学校生活が楽しい、趣味の時間が楽しいと思えるようになったからだと感じています。

2つ目は人生の中でこれから色々な人出会うという訓練をさせてもらったことです。私はこれからこのように人間関係を作っていくのだなーと感じました。最後は生き方です。私はこの学校で沢山のことを

学びました。これは大きな人生の財産であって中学生としては日本の中でも数少ない、とても貴重なことをしました。それは美麻にいなければ見えなかったことだと感じています。今までありがとうございました。



短い間でしたが美麻のみなさんと過ごした中で、成長できたことや学べたことがたくさんありました。ありがとうございました。



美麻にいて思ったこと。それは一人一人の個性と美麻らしさだと僕は思ひます。この美麻小中学校に来た時、9年生が優しくしてくれたのを覚えています。だから美麻小中学校は美麻らしく、そして一人一人の個性を生かして進んで行ってほしいと思ひています。



美麻小中学校で勉強ができ、美麻地区で育って本当に良かったです。

地域の話題

6年生 修了式 3月16日(水)



9年生の卒業式前日、三学期終業式と併せて、6年生の修了式が行われました。自分たちで製作した「証書」をひとり一人が校長先生から受け取りました。

3学期になって、来年度のためにステップ期のリーダーとして音楽集会や9年生を送る会の発表の準備を先頭に立って進めてきました。

1年を振り返って、一番心に残ったことを作文にして、気持ちの準備もしっかりできました。
(6年生担任 志水 宏靖)

梨の木祭 10月2日

虫の声もあまり聞こえなく、寒さが押しよせてくる中、梨の木祭が始まりました。

まだ、不安が山のようにある中音楽会が始まりました。楽しみだなと思う反面、緊張もありました。とうとう6年生の合奏の番になりました。やる曲は、エルクンパンチェロで、とても明るい曲です。手がガタガタふるえていました。先生が指揮棒を上げしーんとした空気の中、曲が流れました。それにつられて音をならします。次に、一番心配な、少人数でやるところです。そこも、ほほひいている感覚がなかったけど、とっばしました。失敗したって全力でがんばるぞと、気合いを手にこめました。そして、とうとうできました。ヤッターと心の中で思いました。



た。楽しかったし、うれしかったし、達成感がありました。前を向くと、拍手がありました。
(6年生 女子)

9年生を送る会 3月11日(金)

8年生中心に新自治会で準備をして、美麻らしく楽しく9年生を送り出すことができました。



リハーサル最後は、円陣で気合入れました!

全校で「全力少年」歌って、踊って!!



.....
 コミュニティ・スクールの話題

ついに、ついに3年生の小屋が完成しました！（2月24日）



少し空いていた天井部分にわらのぼうしをかぶせたことで、雪が落ちてこない（ちょっとは落ちますが・・・）さんかく屋根のかわいい小屋が姿を現しました。小屋のてっぺんにわら帽子をかぶせるためにひもにくくりつけて、みんなでそのひもをひっぱって持ち上げました。雪の壁も、雪のブロックをつくって積み重ねていくことで、最終的に肩までのたかさまで高くなりました。

「とりあえずの完成だね！」「すご〜い！できた！」みんなの嬉しそうな声がゆるキャラの森に響きます。

みんなで小屋の中に入ると想像以上の広さ

で、全員入ってもまだまだ余裕があります。これまでの努力が形になる、きっとみんなの心のなかにも満足感や達成感がむくむくっと大きくなったのではないのでしょうか？

（3年生担任 藤巻 智哉）



イワナの稚魚の放流（1年生）



スクールパートナーズの阿部さんと漁協の北沢さんに案内していただきながら、3月8日（火）に池の平集落へ行く途中の川に、イワナの放流をしました。体の色も濃くなり、動きも素早くなってすっかりたくましくなったイワナですが、川に放流されると勢いよく泳ぎ出していきました。

阿部さんによると、今日およそ300匹ほど放流しましたが、そのうち無事に大人になることができるのは10数匹くらいだそうです。子ども達はすごく驚いていました。みんなで「イワナたち、がんばれよー。」「げんきでなー」等と言ってお別れをしました。（1年生担任 松澤 亨）



.....
 コミュニティ・スターの話題

やぎさんとお別れしました(4年生)

飼い主の方がやぎさんを引き取りに来た2月18日(金)の午後、子どもたちは少し散歩をした後小屋の前で「卒業証書」を読んでお別れをしました。

子どもたちは、やぎさんのリードをひきながら飼い主の方の軽トラックへ連れて行きました。「クロ」・「幸」・「白翔」は子どもたちについていきましたが「メリー」は柵の入口へ行くと、ずっと方向を変えてしまいました。何かを察したのでしょうか。やぎさんもお別れしたくなかったのでしょうか。

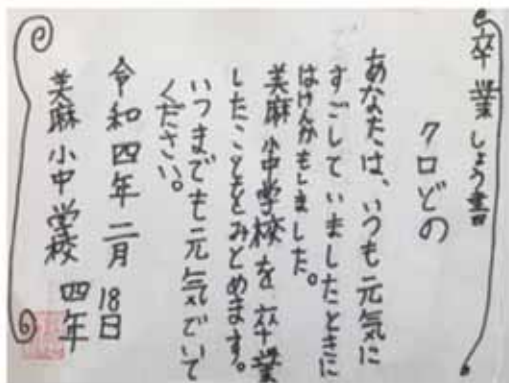
全員が軽トラックに乗ったあと、子どもたちも軽トラックの柵の上から中を覗き込み言葉をかけて背中を触って最後のお別れをしました。



軽トラックが出発するとみんなが追いかけて坂を下っていきました。さみしさが辺りを包んでいました。

地域の方々にはご心配をいただき多くのエサやわらなどを届けていただきました。また、干し草にするための草をたくさんいただきました。そして、実際に会いに来てかわいがっていただきました。子どもたちは、皆様に支えられて思いっきりこの活動に打ち込むことができました。この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。

(4年生担任 野本 和幸)



PTA活動 一年間を振り返って

昨年4月にPTA会長を受任してから1年が経ちました。今年も新型コロナウイルスが猛威を振るい、外出自粛や移動制限などが設けられ、閉塞的な社会であったことが見受けられます。しかし、制限がある中で最大限の活動が出来たことと思います。コロナ禍の中でもたくましく活躍する生徒たちの姿が見られ、大変悦ばしく感じております。

この素晴らしい地域の皆様や先生方、保護者の方々のご協力のお陰で、無事にPTA会長としてやり遂げることが出来ました。たくさんのご協力に感謝を申し上げますとともに、皆様のご多幸をお祈りいたします。楽しく思い出に残る一年間、本当にありがとうございました。

(美麻小中学校PTA会長 中村秀明)



令和3年度ひとが輝くまちづくり事業最終報告会

本年度の補助を受けた団体の最終報告会が3月5日にリモート（Zoom活用）で行われました。発表した5団体のうち、美麻地区から、「みあさ・地域のエネルギーを考える会」、「青具を元気にする会」、「美麻スクールパートナーズ」が発表を行いました。

美麻地域のエネルギーを考える会！

私達は、美麻地域で一番身近な自然再生エネルギーである木質資源、その中でも針葉樹の「C材」を地域で利活用できないかと活動してきました。

今年度は、定例の薪づくりの他にも会の活動を広げたい、そのためにも色々学びたいと、補助金を申請しました。助成をいただくことにより視察や講習会、座談会、そして当会の発足のきっかけとなった映画「おだやかな革命」の上映会も開催することができました。

また、会の活動を新聞やテレビで紹介していただいたことで、より多くの方にC材の利活用がSDGsに繋がることを伝えることができ、そのことを牛越市長や審査員の方にも評価していただきました。

今年度学んだことを活かして、地元のC材

※を使った薪が地域のエネルギーの選択肢の一つとなることを地域の方々に拡げていけるよう、引き続き活動していきたいと思えます。（美麻地域のエネルギーを考える会）



* C材：木材チップの原料のうち、原木の場合は、製材用材や合板用材として取引されないもの

青具を元気にする会



4/19 丸切沢遊砂地 植樹作業

青具を元気にする会は、青具の元気を取り戻そうと令和2年に有志で結成されました。地区活性化の第一歩として、草刈り、除伐、桜の植樹など、主に景観整備を行っています。令和3年度はひとが輝くまちづくり事業の「ひろげようまちづくり活動」に採択され、

丸切沢遊砂地の整備と県道沿いの景観整備を行いました。遊砂地では、歩道の整地とウッドチップ敷設、花の植栽、雑木の除伐、側溝の掘り起こし、ベンチの設置等を行い「親水公園」としての機能をかなり回復させることができました。また、遊砂地および県道沿いに、桜20本、ツツジ100本、などを植樹することができました。報告会では、審査員の方から活動の宣伝や自治会との連携について質問を受けました。この2点はまさに地域活性化の第二段階として、今後中心となる活動であり、来年度は整備した公園の宣伝も兼ねたイベント、特に子供から年配の方まで皆で楽しめる企画をいくつか実施したいと思っています。（青具を元気にする会 阿部克也）

美麻スクールパートナーズ



美麻小中学校9年生と一緒に出来上がった花豆BOOKを手に、3月14日（月）今年度の活動報告を兼ねて、大町市役所に表敬訪問に行きました。生徒は市長や教育長の質問に対して「農家さんの背中から学んだことが一番の成果」「お金の利益が上がったわけではないが、知の財産が得られた」「美麻にいるからこそできることをやった」と答えるなど、活動したからこそ出る実感のこもった感想が語られました。3代目花MAME株式会社の活動は終わりますが、これからも美麻を思い、それぞれ進んだ道でがんばっていきたいと思います。ご支援ありがとうございました。（文責 9年担任 平林隆昭）

市民科今年の活動のまとめのパネル完成！

6年生～9年生が今年度の市民科の活動をデータでまとめ、湘南工科大学の禹先生にパネル作成のノウハウをリモートで教えていただき、アドバイスもいただき完成しました。

その後、修正したスライドのデータをパネルに作り直していただき、構成や訂正をメールで連絡を取りながら、最終データを提出してパネルにさせていただきました。それぞれの活動の成果や課題が見えてくる内容で、来年度の活動にも生かされると思います。学校内に3月中には展示します。また、7年～9年は、例年作成している美麻地域づくり会議のコミュニティカレンダーに掲載されます。

お手元に届きましたらじっくり見ていただき、市民科の活動にご質問、ご意見をいただいたり、今後ともご協力いただけるとありがたいです。

（美麻スクールパートナーズ）



花豆赤飯

給食の先生の発案で、地域の特産品を開発に3年間取り組んできた9年生の卒業を祝うため、5年生が栽培したもち米を赤飯にして、花豆甘納豆をトッピング赤飯を全校で味わいました。子ども達に地産地消の大切さを知ってもらう機会となった上に、当日はNHKのテレビ取材もあり、花豆を美麻地区の特産品としてPRする貴重な機会ともなりました。

【発案した給食の先生のお話】

美麻の勤務が長く、給食室の窓から花豆栽培を一生懸命にやっている姿を見ていて卒業の記念に何かできないかと考え給食の先生方と話し合い計画をしました。

【9年生の感想】

・学校へ来る楽しみの一つが給食でした。ゴマ塩と甘納豆のバランスが最高によく思い出

卒業を祝う

になる給食でした。

- ・花豆を何に使うのかわからないでいたので、美麻らしくて食べ納めになる幸せな給食でした。
- ・3年間みんなでやってきた活動が最後に給食となって感動しました。



大町市議会との意見交換会を開催 (3/17)

美麻地区連合自治会・地域づくり会議と大町市議会の意見交換会が開催されました。

コロナの影響で延期となっていましたでしたが2年越しの開催です。

今回は、

- 美麻地区振興計画
- 自治会運営について
- 子育て支援策の充実
- 生活環境の整備
- 小さな拠点の形成

等について、美麻地区での取り組みの現状を報告し、行政から支援いただきたいことを出席いただいた議員さんに伝え、市議会からは、共有した課題に必要な取り組みをしていくとのお話をいただきました。

傘木自治会長からは、「地域でできることは住民が協力してやっていきます。しかし、住民だけでは出来ない事もあるので、その部分は必要な支援をお願いしたい。」と美麻地区の振興についての支援を改めてお願いしました。(美麻地区連合自治会事務局)



昔の広報誌などから地域の歴史を不定期に紹介します。

広報みあさ No.10 (昭和53年3月10日) より

長野放送四輪駆動車贈呈キャンペーンに、診療所が次のような理由で申し込みました。

現在使用している患者輸送車では冬期間急激な降雪のため往診できない部落があるため四輪駆動車が必要であるが小規模診療所の財政事情はきびしく国庫補助金以外の自己財源の確保が困難であるため、このキャンペーンに応募しました。応募の結果二月四日に長野放送より数多くの応募者の中から美麻村診療所が選ばれたと連絡をいただき、二月六日に手続きを行い、十日に贈呈式を実施放送で行うことになりました。当日は村長と医師が贈呈式に出席し、長野放送業務部長から、「山間へき地の医療に有効に利用していただきたい」と村長にカギが贈呈されました。これに対して村長と医師が御礼のことばをのべて贈呈式を終りました。

今後は、村民の健康管理にこの車を有効に利用させていただきます。

四輪駆動車をもらいました



春先は火災の多発期



- 1位 たばこ
- 2位 たき火
- 3位 火あそび

■ 編集・発行 美麻地域づくり会議

住所 大町市美麻11810-イ 電話29-2311 FAX29-2333 ・ 電子メール info@miasa.info